

●題名

2015年 3月 14日～15日 足拍子山

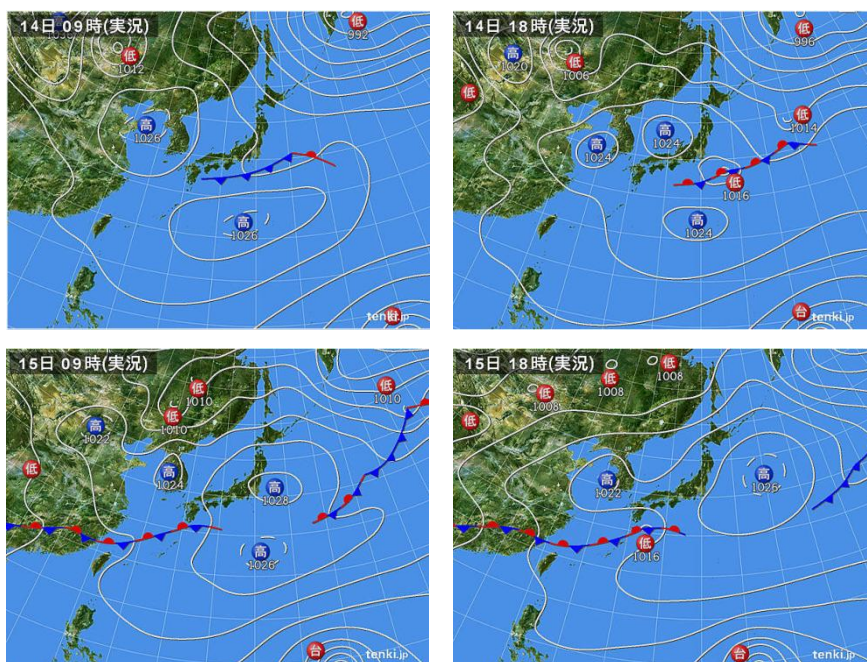
●参加者

落合(リーダー、食糧)、松村(装備)、その他(1人)

●天気図

14日は悪天を予想していたが午前中は晴だった。午後から視界が無くなり雪が降った。ただ、風は終始穏やか。

15日は一日中快晴。気温が高くて体力を消耗するのと雪が緩むのとで難儀した。風無し。



●ルート選定・感想

万太郎山から下山する時、ピラミダルな山容が目につきあれが足拍子岳だと落合に教えてもらう。それがルート選定のきっかけであった。

駅の裏山にも関わらず奮闘的な登山だった。

初日は天気が悪そうだったので荒沢山までの計画としたが日差しとラッセルに苦勞して4時間掛った。後で振り返ると、山の状態と我々の実力を鑑みて日帰りの計画だったら途中でビバークになっていたのでは、結果オーライだった。

コルまでの出だし 300m の区間が稜線が細い上に雪が不安定に見えたのでロープを出した(4回 + 懸垂1回)。木にかろうじてくっついている雪庇の上を歩くような感じで緊張した。

コル以降は多少雪面が広く平らになり安心して歩くことができた。とはいえ、トレースが無いので時折雪庇をスコップで崩しながら奮闘して進む。足拍子岳まで7時間も掛かる。

山頂へ伸びる尾根がシュルントで通れないので代わりに西面の雪壁を登る。稜線に出て山頂を見るととても立てなさそうなので引き返すが、傾斜がある上に雪面が固いので慎重にクライムダウンする。

南尾根はシュルントでずたずただったためルートを探すのに苦労した。個人的には足拍子までの稜線よりも危険を感じた。2回ロープを出した。

1142m から下はシュルントの心配が無いので軽快に下るが、ルートを見誤り何度か沢筋に迷い込んでしまう。一度雪に埋もれた滝の上を通過したが、日没を意識して急いでいたとはいえ軽率であった。

●行動記録

【14日】

8:40 土樽駅 発

12:30 荒沢山

13:30 幕営

【15日】

4:00 起床

6:00 発

8:50 1240m コル(懸垂下降)

13:00 足拍子岳(頂上手前で引き返す)

13:50 足拍子岳 南稜

16:10 1142m

17:50 土樽駅

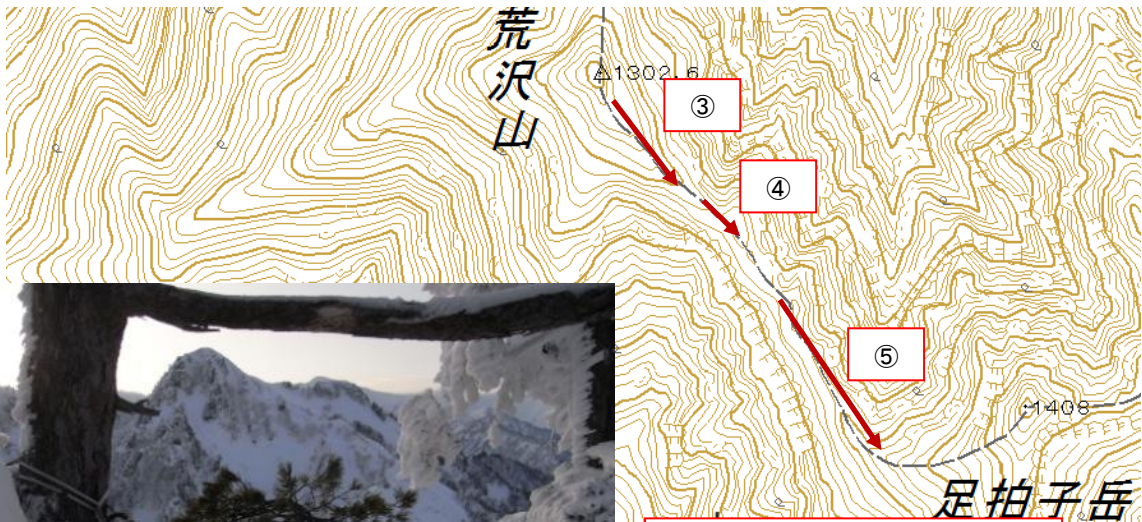
●写真



①足拍子までの稜線が見える



②山頂直下で幕営



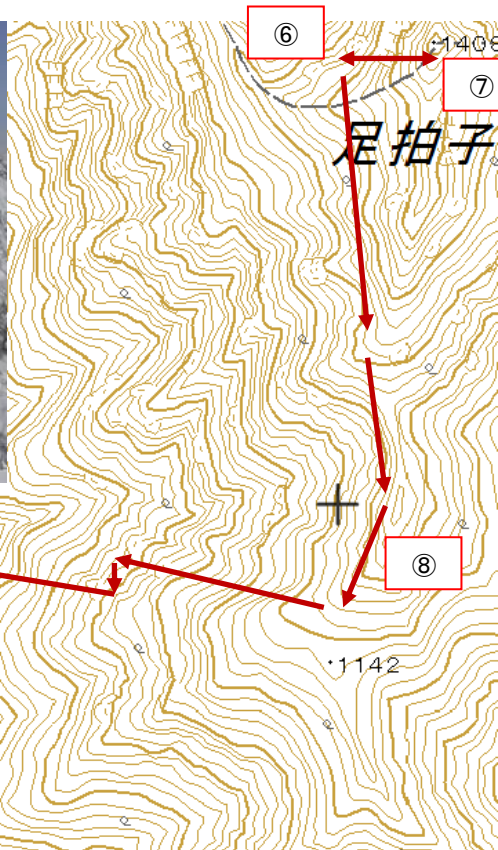
③コルまでにロープを4ピッチ出す

⑤稜線を進む

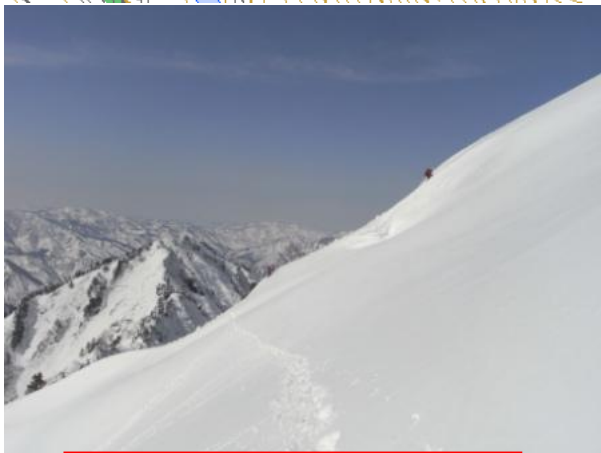


④コルの登り返しではスコップを使った





⑥ 稜線を一望する



⑦ 山頂から引き返す



⑧ 南稜。シュルトが多くて下降到に苦労した



⑨ 橋に出る。地図読みが下手で何度か沢筋に迷い込んでしまった。